

2020年度第5回11月期定例番組審議会議事録

1. 開催の日時 2020年11月
2. 開催の場所 各委員に資料を郵送して番組をお聞きいただき、
意見・感想を返信してもらう形式で開催
3. 委員の出席 委員総数9名
返信総数9名

出席委員名	委員長	増田仲夫
	副委員長	河又弘子
	委員	竹内明子
	委員	白幡冬彦
	委員	古口 悟
	委員	藤澤 勝
	委員	富田哲夫
	委員	小祝章二
	委員	大森玲子

4. 議 題

- (1) ビタミンとちぎ「それいけ協力隊」

毎週水曜 10:40～10:55

試聴番組日 2020年4月15日～10月14日 4回分

ディレクター 加藤拓也

- (2) その他

5. 議事内容

(1) ビタミンとちぎ「それいけ協力隊」

ディレクター 加藤拓也

番組視聴：放送した番組を各委員に送付して視聴していただいた

議題説明：人口減少や高齢化が著しい地方で、地域外の人材を受け入れて地域活動で定着してもらい、地域力の維持・強化を図るために創設された地域おこし協力隊。県内では18市町73人の隊員が活動しており、その隊員に活動内容や目標などを伺う内容。

各委員からは、

- 有意義な番組で、とても興味深く感心させられた。地域外から人材を受け売れ、地域力の強化を図っていこうとする姿勢に共感するし、それを取り上げて番組化したことに敬意を表します。出演者によっては歯切れがよかったり、聞き取りにくかったりしている。アナウンサーはバランスが取れていて、適宜適時の解説がとても良かった。
- 協力隊が市町にあって活動していることを知らせるにはわかりやすい番組。全体的に浅く感じる場所があり、より深い内容に変えていった方が良い。協力隊が一部の活動だけでなく、全体的な提言が出来るようになれば良いと思うし、そのような提言が出来る番組が出来ると良い。
- 協力隊の活動はあまり知られていない。隊員自らが紹介することで彼らに注目する良いきっかけになると思う。声によって隊員の性格や意欲が伝わるのがラジオの良いところ。アナウンサーがうまく引き出して活動への理解を深めていると思った。隊員の紹介が終わった後、次に番組で何を伝えていくかどうあるべきかぜひ検討して欲しい。
- 協力隊の取り組みについて番組を通じて広く県民に周知し、賛同する仲間づくり・動きが起こることを期待したい。冒頭で協力隊の仕組みについて説明が必要ではないか。またコロナ渦による活動の難しさや苦労話を聴くことはできるか。それぞれの隊員に目指す姿の話が聞きたい。
- 協力隊の活動をこの番組を通じて初めて知った。若者や外国人も活動しており、もっと多くの方に知ってもらいたいと思う。活動内容も良くわかり、出演者のリクエストをかけるなど、楽しく番組を機くことができた。
- 様々な地域の協力隊がいろいろな活動をしているのが理解できてよかった。ただし視聴者に制度を理解してもらいたいのか、隊員個人の魅力を伝えたいのか、活動への参画を促そうとしているのかなど、番組の狙いが明確でなく中途半端な感じがした。

- 協力隊の役割を改めて知ることができた。県外へのPR方法を考え発信することが、隊員の活動を後押しできると思った。隊員にもどのように告知していくと活動の支援が出来るのか聞きながら番組を展開すると良いのではないか。
- 隊員にとって番組で取り上げられることは活動を知ってもらえる良い機会、励みにもなる。隊員の活動が地域おこしにどのように関連していくのか、日々どのような活動をしているのか、地域おこしに協力しているのかなどをもう少し突っ込んで欲しい。与えられたミッションを説明していたのは良かった。担当役所の話があるともっと伝わりやすい。
- 身近にいながら認知度は決して高くないと思われるのでこのような番組は活動周知に良い。地域住民は当たり前でも、よそ者だからこそわかる地域の魅力もあるので、そこについても引き出せるともっと良かった。

当社としては、これらの意見をもとに、今後の番組制作や広報に取り組んでいきたい旨を、各委員に伝えた。

(2) その他

6. 審議内容

上記の通りであり、特に審議決定し、答申すべきものはなかった。

7. 番組審議会の答申および意見の概要の公表

- ① 社の番組「栃木放送からのお知らせ」
(2020年12月6日(日) 午前8時5分放送)
- ② 社のホームページに掲載(2020年12月11日～)
- ③ 社事務局に議事録備え置き(2020年12月11日～)

以上